

# 街の賑わい委員会 事業計画

委員長 沢 田 清 文

つくば市は発展を重ね、新たな交通網、ショッピングモールそして綺麗な住宅地が次々と整いました。しかし、発展の結果として、移住者が増え、隣人の顔も知らない挨拶さえかわした事がないという人間関係の希薄化が進みました。本来、人は一人では生きていきません。人と出会い、助け合い、学びあっていく事が重要です。そこで、祭りという共通の賑わいの場を提供し、住民の触れ合いと笑顔が連鎖する場を作り出す必要があります。

まず、「The 祭 in TSUKUBA」ねぶたパレードは、新規事業ではなく、既に20年も続く伝統事業であるため、訪れる人はこの祭りを楽しみにしており、一定以上の期待があるので、最初の取り組みとしては、まず諸先輩方、各関係諸団体の皆様にご指導を頂き、我々がその伝統を受け継ぐことから始めます。そして、この祭りに期待される伝統を理解できた次はその伝統を活かした上で、事業の目的である触れ合いと笑顔が更に連鎖し拡大するようさらに多くの観客を巻き込んでいきます。40万、50万人に上る来場者の笑顔を見ることができるよう、例年通りの素晴らしい祭りだという魅力に加え、新しいアイデア、驚きという魅力を合わせていきます。そのためには、今までこの「The 祭 in TSUKUBA」の伝統を繋げて頂いた諸先輩方が残したこの祭りにおける試行と検証の記録も活かし、更に、経験が浅くても斬新なアイデアを持つ人財にも協力してもらいます。そして、この事業の将来を見据え、事業を運営していく過程や問題点などをしっかり検証し、祭りの準備、本番、片付を通し粋で優しい人財を育成し、次年度の事業に活かせるようにしていきます。

この事業を通して、協力し合えた仲間は大事な人財となり、この祭りを訪れた来場者の笑顔はさらに多くの笑顔に繋がり、この祭りで触れ合った人同士は祭りが終わってもその繋がりを残し、結果としてこの街に笑顔と触れ合いが連鎖し、街の賑わいと繋がります。

## 〔事業計画〕

1. 市民が笑顔になり街の賑わいを発信する第21回「The 祭 in TSUKUBA」ねぶたパレードの開催
2. 開催後の検証、事業マニュアルの更新及び引継ぎ
3. 将来のパレードのあり方の模索
4. 継続事業を飛躍させる為の人財育成
5. 会員育成、拡大

予 算

〇〇〇〇〇〇円

〇〇〇〇〇〇円

合 計

〇〇〇〇〇〇円